

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り

1月8日発行
Vol.138

迎春



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

1/4

南相馬市HP「フォトレポ」から

新春恒例はしご乗り奉納 (相馬小高神社)



3ページをご覧ください。

目次

●南相馬市HP「フォトレポ」から

- ・新春恒例はしご乗り奉納
(相馬小高神社) ----- 1・3
- ・神楽披露(野馬追通り銘醸館)
----- 4
- ・防火防災の誓い新たに
南相馬市消防団出初式 ----- 4

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 5
- 浪江町 ----- 11
- 双葉町 ----- 13
- 大熊町 ----- 16
- 富岡町 ----- 18
- 川内村 ----- 20
- 郡山市 ----- 21
- いわき市 ----- 22

●新潟県

- ・新潟県借上げ住宅の
提供期間延長手続きについて --- 23

●三条市News

- ・国定市長から年頭のごあいさつ
----- 2
- ・南相馬市長選挙・南相馬市議会議員
補欠選挙の不在者投票 ----- 24

●交流ルームひばり通信

- ・本年最初の「食推食事会」 --- 25
- ・「音楽の絵本」ご招待 ----- 25
- ・1月の「ひばり」 ----- 26



國定市長から年頭のごあいさつ

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さんが三条に避難されて来てから、間もなく3年を迎えようとしています。

皆さんの地元の状況を考えると、まだまだ避難生活が続くものと覚悟をしていらっしゃるかと思います。

私たちは、皆さんがこれからも避難生活を余儀なくされるということをしかりと受け止めて、継続的長期的な支援をしていかなければいけないと思っています。

しかし、長期的な支援というのは、ややもすると日々の生活に埋没してしまいがちになり、その結果、かつてほど支援の輪が広がっているということを見える形で感じ取る機会が少なくなってしまうのではないかと、大変心配をしています。

復旧・復興は長期的に時間がかかるということを覚悟したなかで、それでも復旧・復興をあきらめないためには、日々の生活の中で心が折れないということ、三条の生活になじんでいただきながらも復旧・復興に対する望みを忘れないこと、これがとても大切なことだと思います。

平成23年3月16日に皆さんを受け入れた時の私たちの誓い、つまり、一人残らず全員が生活再建に一定のめどが立つまで応援し続けるんだという誓いは、まったく輝きを失っていないし、今もなお思い続けているということ、皆さんにご理解いただきたいと思ひますし、私たちも、それを理解してほしいと言うだけではなく、行動で表していかなければいけないと思ひます。

長期化すればするほど、支援の中身というのは変わっていくと思ひます。去年から始めた一時帰宅をされる時のお手伝いボランティアなど、その時その時のニーズに応えられるような支援をし続けていきたいと思ひますので、そのためにも、引き続き、こうしてほしいというような声があれば、遠慮なくお聞かせいただきたいと思ひます。

今年はまさに相馬野馬追の主人公である「午」の年でもありますから、去年見たあの大勢の皆さんに勇気と希望を与える素晴らしい野馬追のように、皆さんにとって、この一年間が輝かしい舞台になることを心から祈念いたします。



平成26年1月8日

三条市長 國定 勇人

1/4

新春恒例はしご乗り奉納 (相馬小高神社)

小高区の相馬小高神社で新春恒例の「はしご乗り奉納」が行われました。

会場では威勢のいい木遣りに乗って「纏振り」が披露され、太夫と呼ばれる地元のとび職の若手5人が約7メートルのはしごの上で「両膝八艘」「背亀」「肝つぶし」など練習を重ねた妙技を奉納しました。

避難先などから詰め掛けた約700人は、目の前で繰り広げられる伝統の技に大きな歓声と拍手を送りました。



約30人のとび職人



安全祈願祭



纏(まとい)振り披露



会場に詰め掛けた観客



次々と繰り広げられる妙技



投げもち

1/1

神楽披露（野馬追通り銘醸館）

野馬追通り銘醸館（原町区）では、元日の風物詩ともなった神楽披露が行われ、訪れた皆さんは舞い手の勇壮な神楽に目を奪われていました。



1/5

防火防災の誓い新たに 南相馬市消防団出初式

南相馬市消防団の出初式が市民文化会館で行われ、消防団員約500人が出席しました。殉職した団員、職員に黙とうをささげた後、佐藤団長と、桜井市長が挨拶しました。

また、出初式の前に原町区と鹿島区でパレードが行われ、防火防災の誓いを新たにしました。





南相馬市からのお知らせ

希望ある新しい南相馬をめざして（市長からのメッセージ）

1月8日HP更新

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成26年の年頭にあたり、市民の皆様のご多幸をお祈り申し上げますとともに、旧年中に賜りました市政に対するご支援とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

さて、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故から2年10か月を迎えようとしていますが、いまだ多くの市民の皆様が避難を余儀なくされ、不自由な生活を強いられる状況が続いておりますことにお見舞いを申し上げます。

南相馬市は一日でも早く、一人でも多くの市民の皆様が安心した生活ができるよう復旧・復興に向け全力で取り組んでまいりました。小高区においても一部を除き、年末から年始にかけて特例宿泊ができるまで進んできました。

しかしながら、復興への道のりは厳しく、特に旧警戒区域内については、除染や災害がれきの処理、住宅の確保、医療・福祉の充実など課題が山積しています。このような中、市民一人ひとりが将来に向けて夢と希望を抱き、安心して暮らせる生活の基盤を築くため、確実な復旧・復興に取り組んでまいります。

特に、市民生活再建に不可欠なインフラの整備や生活圏の除染、災害がれき処理等を協力を推進するとともに、地元企業支援と積極的な企業誘致、災害公営住宅の整備や防災集団移転事業の促進など、被災された方々の住宅や働く場所の確保に努め、津波で被災した水田のほ場整備に着手するなど、産業全般にわたって地域の活力を生み出す考えです。

さらに、医療・介護の充実はもちろん、医療施設再開支援や子供の遊び場確保など、次代を担う子供たちが戻り、安心して暮らせる魅力ある環境づくりに全力で取り組みます。

南相馬市は、大震災と原発事故から復興しなければならない大変厳しい状況ではありますが、子供たちに希望ある未来を提供していくために、本年も市職員一丸となって市民のために努力してまいりますので皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

南相馬市長 **桜井勝延**

避難の状況と市内居住の状況

1月6日HP更新

避難の状況(平成26年1月6日現在)

平成23年3月11日現在の人口		71,561人
市内居住者	自宅居住	35,240人
	市内の知人宅や借上げ住宅等	6,180人
	市内の仮設住宅	5,404人
	計	46,824人
市外避難者	市外の知人宅や借上げ住宅等	14,730人
	(うち福島県外)	(8,857人)
	計	14,730人
その他	死亡(震災以外の死亡含む)	2,818人
	転出	7,164人
	所在不明	25人
	計	10,007人

市内居住の状況

	平成23年3月11日 現在の人口	平成26年1月6日 現在の居住者数	備考
小高区	12,842人	—	一部帰還困難区域 一部居住制限区域 一部避難指示解除準備区域
鹿島区	11,603人	13,766人	
原町区	47,116人	37,805人	一部居住制限区域 一部避難指示解除準備区域
計	71,561人	51,571人	

※平成23年3月11日以降の転入者および他市町村からの避難者を含むため、避難の状況の市内居住者数と合計の数が異なります。

問い合わせ

復興企画部 企画課

TEL 0244-24-5358、5223

南相馬市民の避難状況

※南相馬市外に避難している人数

【都道府県別】

2014.1.6現在（南相馬市HPより）

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
福島県	5,873	群馬県	228	京都府	32	島根県	9	山口県	2
宮城県	2,320	山梨県	98	石川県	29	長崎県	8	高知県	2
山形県	929	北海道	92	青森県	28	三重県	7	和歌山県	-
新潟県	899	長野県	91	沖縄県	23	福岡県	6	鳥取県	-
東京都	779	岩手県	80	福井県	21	愛媛県	4	徳島県	-
茨城県	674	秋田県	77	岐阜県	15	熊本県	4	宮崎県	-
埼玉県	674	静岡県	74	滋賀県	14	大分県	4	鹿児島県	-
栃木県	514	愛知県	52	岡山県	12	奈良県	3	海外	14
千葉県	498	兵庫県	40	富山県	11	香川県	3	合計	14,730
神奈川県	435	大阪府	38	広島県	11	佐賀県	3	(12/19 14,777)	

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
相馬市	1,558	喜多方市	74	三春町	21	只見町	5	広野町	2
福島市	1,464	会津坂下町	53	会津美里町	16	北塩原村	5	合計	5,873
いわき市	715	猪苗代町	37	田村市	15	矢吹町	5		
郡山市	551	本宮市	34	西会津町	13	玉川村	5		
会津若松市	340	南会津町	33	小野町	13	石川町	3		
新地町	304	鏡石町	32	下郷町	11	浅川町	3		
二本松市	134	川俣町	27	磐梯町	9	国見町	2		
伊達市	124	西郷村	25	金山町	7	天栄村	2		
須賀川市	95	桑折町	22	矢祭町	6	泉崎村	2		
白河市	77	棚倉町	21	古殿町	6	鮫川村	2		



みなみそうまチャンネル
Channel assist by
yoozma
www.yoozma.jp

南相馬市

番組内容 [1/8~1/14]

今週の番組(120分) ※パソコン視聴・アクティブラ配信

1. オープニング&今週の番組 [2分]
2. 歌で綴る鹿島幼稚園 [7分]
3. 南相馬 漁業復興 Part1 真野川漁港シラス漁 [10分]
4. 被災地の神社 Part4 鳥居設置 [13分]
5. 南相馬 漁業復興 Part2 新田川 鮭漁 [10分]
6. 年の瀬 鮭のプレゼント [3分]
7. ガンバレシピ第74回 男の料理「クリームシチュー」 [10分]
8. 波乗り体操 [4分30秒]
9. リクエストアワーのお知らせ [30秒]
10. 2013~2014 南相馬ゆく年くる年 [60分]

[午前9時55分~/午後3時55分~/旧警戒区域ライブカメラ配信(5分)]

今週は、歌で綴る鹿島幼稚園、元気な園児達の歌声や、年の瀬に牛越第二仮設住宅の皆さんに美味しい鮭がプレゼントされた様子などをお伝えします。
今回のガンバレシピは、男性のための料理教室、ホワイトソースをつくることから始める本格派です。



みゆーまくん

平成26年4月採用予定 南相馬市職員《任期付職員》募集

1月1日HP更新

市では、東日本大震災および原子力災害からの復旧、復興等により一時的に増加する業務等に対応するため、任期付職員を募集します。

即戦力となる地域貢献への情熱のある方の応募をお待ちしています。

職種

一般行政・建築・土木

任期

2年（昭和30年4月1日以前に生まれた方は1年）

※5年を超えない範囲で任期を延長する場合があります。

受付期限

1月31日（金）

受験申込受付は簡易書留による郵送に限ります。（1月31日までの消印有効）

受験案内・申込用紙

次の方法で取得できます。

- 南相馬市役所市民課総合案内係および各区役所市民福祉課総合案内係で交付します。
 - ・月～金：午前8時30分～午後5時15分 各総合案内係で交付
 - ・土・日：午前8時30分～午後5時 各日直窓口（小高区役所を除く）で交付
- 郵便で請求できます。

封筒の表に「**受験申込書（任期付職員）請求**」と朱書きし、返送用に120円切手を貼ったあて先（自分あて）を明記した角2号封筒を必ず同封して、請求してください。
- ホームページからダウンロードできます。

採用予定人員ほか

採用予定人員	〔一般行政〕35人程度 〔建築〕2人程度 〔土木〕8人程度
受験資格	〔一般行政〕年齢要件、資格要件はありません。 〔建築〕一級または二級建築士の資格を有する方で年齢要件はありません。 〔土木〕1級または2級土木施工管理技士の資格を有する方で年齢要件はありません。 ※すべての職種でパソコン（ワード・エクセル等）操作は必須です。
試験日	2月16日（日）～18日（火）
試験会場	南相馬市役所 東庁舎2階（南相馬市原町区本町二丁目27番地）
試験内容	教養試験（高卒程度）、作文試験、適性検査、個人面接、身体検査

問い合わせ・郵送先

南相馬市役所 総務部 総務課
〒975-8686 南相馬市原町区本町二丁目27
TEL 0244-24-5222

「住宅再建NEWS」について

平成25年12月27日HP更新

市では、津波で被災された方々の生活再建のため、防災集団移転促進事業を進めており、「住宅再建NEWS」では、その各住宅団地整備の進捗状況をお伝えします。



「住宅再建NEWS」を
今週号に添付しました。

※南相馬市の世帯のみ

問い合わせ

都市計画課
建築住宅課

TEL 0244-24-5251

TEL 0244-24-5253

市育英資金奨学生候補者を募集

平成25年12月27日HP更新

市では、平成26年4月に大学・高校等に進学する方と在学されている方を対象に育英資金奨学生候補者の募集を行っています。育英資金は無利息です。

応募資格

- 市内に引き続き1年以上住所を有し、品行方正で学術に優れている方
- 経済的理由で修学が困難と認められる方
- 国、県または他の団体から同種類の育英資金を受けない方

申込期限

2月14日(金)

貸付金額と募集人員

学校種別	貸付金額(月額)	人員
大学(医師・獣医師)	60,000円	1人程度
大学(短大を含む)	48,000円	27人程度
高専・専修学校	35,000円	6人程度
高等学校	18,000円	1人程度

問い合わせ

教育委員会 教育総務課

TEL 0244-24-5282

復興グルメF-1大会開催 1月8日HP更新

被災3県(福島・宮城・岩手)の商店街などが参加して、復興グルメを販売して「復興グルメNo.1」を決定する復興グルメF-1大会が開催されます。
当日は南相馬市からも3店舗が出店します。

2014 1/19 日 集まろう! 伝えよう! つなごう東北!

第5回 復興グルメF-1大会
in fukushima 南相馬市鹿島区 鹿島生涯学習センター
南相馬市鹿島区寺内字迎田22-1

一品 300円! (チケット制)

あなたの1票が **復興グルメNO.1** を決定する!

出店&投票開始 午前10時~午後2時
表彰式&交流会 午後3時~

同時開催 イベント 盛り沢山!!
11:00 人気お笑い芸人ライブ
13:00 相馬流れ山踊り
13:30 ヨサコイ「はね駒」
14:30 人気お笑い芸人ライブ
15:00 投げ餅

会場案内マップ

お問い合わせ: 鹿島商工会 (0244-46-2250) / AMDA 担当: 大政 (080-2923-6114) Facebook: <http://www.facebook.com/fukukogourmet>
主催: 鹿島商工会・気仙沼復興商店街 南町茶市場・認定特定非営利活動法人アムダ (AMDA) / 協賛: 一般社団法人南相馬市かしま観光協会・協同組合鹿島スタッフ会・かしま給食企業組合・株式会社伊藤園 / 後援: 南相馬市・福島民報社・福島民友新聞社

問い合わせ 鹿島区 産業建設課 TEL 0244-46-2115



浪江町からのお知らせ

新年のご挨拶（町長メッセージ）

広報なみえ平成26年1月号掲載

避難先での3度目のお正月を迎えました。1,000日を超えて慣れ親しんだ土地を離れ、町民の皆様にご心労をおかけし続けていることを思うと、胸が詰まります。年頭に当たり、この過酷な避難生活から、一刻も早く安心できる生活を取り戻さなければならないと、思いを新たにしております。

町の復興計画では、震災から3年となる平成26年3月31日までを「緊急復旧期」と位置づけて、避難先での生活の改善などに取り組んできました。すべて計画通りに進んでいるというわけではありませんが、わずかに復興への歯車が動き出したように思います。今年、復興計画に定める「中期—復旧実現期」の初年度となり、本年の目標は「浪江町民一人ひとりの選択を可能とするために、復興の動きを見える形にする」ことでもあります。

去年は、町民の皆様のご協力のもと、復旧の大前提となる本格除染が始まったところです。当初の計画からは遅れてしまいましたが、道路や水道などの復旧工事と連携し除染を進め、当初の目標である平成29年3月の帰還開始を目指し取り組んでまいります。町としては、引き続き町内全域の除染を念頭に、森林や河川も含めたより効果的な除染の実施を求めてまいります。

賠償については、国の原子力損害賠償紛争審査会から中間指針の第4次追補がまとめられ住宅確保に係る損害などについて示されました。これは、私たちの生活再建になくはないもので、町としても訴え続けてきたものですが、まだまだ満足できるものではありません。また、指針全体として、区域によって差が大きくなる部分があり、町民の分断を招くおそれがあります。町としてはこれまでどおり、区域の別に関らず、一律の賠償および精神的損害の増額を強く求めてまいりたいと考えております。

また、生活の再建について、住環境を改善するため、復興公営住宅の整備が急務となっています。現在、必要戸数の確保に向け、避難先自治体・県とともに用地の選定を進めており、町外コミュニティの整備を予定している南相馬市、いわき市、二本松市、協定に基づき町営での住宅を整備する桑折町のほか、本宮市からも市営での整備の打診があり、協議しているところです。町としても応急仮設住宅の一刻も早い解消に向け、国・県への働きかけを強めてまいります。

いずれにしても、本年は生活再建、町外コミュニティ、除染やインフラ復旧、生活支援の今後の展望を見える形にします。

結びになりますが、寒さが一段と厳しくなってきた折体調管理にご留意され、今年一年皆様が笑顔で過ごせるよう心よりお祈り申し上げ新年の挨拶といたします。

浪江町長 馬場 有



特別地域内除染実施計画の見直しについて

平成25年12月27日HP更新

環境省は、「除染の進捗状況についての総点検」(平成25年9月10日環境省公表)を踏まえ、放射性物質汚染対処特別措置法第29条第1項に基づき、除染特別地域内除染実施計画を改訂しました。

**「特別地域内除染実施計画(浪江町)」を
今週号に添付しました。**

問い合わせ

ふるさと再生課 除染対策係

TEL 0240-34-0228

帰還困難区域における除染モデル実証事業の中間報告(速報)について

平成25年12月27日HP更新

環境省は、帰還困難区域の復興および除染に係る取り組みを検討するにあたっての基礎データの収集を目的としたモデル実証事業を、赤字木地区、大堀地区、井手地区の3地区において取り組んでいます。

この度、平成25年12月26日(木)に開催されました環境回復検討会議において「帰還困難区域における除染モデル実証事業の中間報告(速報)」を公表しました。

**「帰還困難区域における除染モデル実証事業の中間
報告(速報)」を今週号に添付しました。**

問い合わせ

環境省 福島環境再生事務所

TEL 024-573-7330

浪江町役場 ふるさと再生課 除染対策係

TEL 0240-34-0228



双葉町からのお知らせ

町長メッセージ

1月1日HP更新

平成26年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。東日本大震災と原発事故から3回目のお正月となりますが、全国各地に避難された町民の皆さまが、長期化する避難生活の中でも希望を持って生活していただけるよう、本年も懸案である重要課題に積極的に取り組んでいく所存であります。

全町避難以降、休校となっている町立幼稚園、小中学校を、本年4月に福島県いわき市内で再開することとしています。確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成を目指し、将来の双葉町の復興を担う子供たちを双葉町の学校で逞しくしっかりと育ててまいりたいと考えています。

昨年6月に策定した「双葉町復興まちづくり計画(第一次)」の具現化に向けて、双葉町復興推進委員会を設置し、当面取り組むべき具体的な事業として、町民のきずなの維持・発展施策、双葉町外拠点の形成施策、生活再建に必要な施策について現在活発な議論を行っています。今後委員会の提言を受けて、事業計画の策定を進めてまいります。

昨年10月に実施した2回目の住民意向調査では、復興公営住宅の入居を希望する世帯が回答数の17.3%を占め、最も希望する自治体として、いわき市、郡山市、南相馬市、白河市の順になっています。今回の結果を踏まえ、町外拠点の核となる復興公営住宅の整備戸数、仕様等について国県、受入自治体との協議を加速させるとともに、福祉、医療などの関連施設の整備のあり方についても検討してまいります。

原子力損害賠償については、昨年6月に国の原子力損害賠償紛争審査会が双葉町を現地視察した際に、私から能見会長に対し指針の見直しを強く要求した結果、12月の審査会で築48年以上を経過した住宅は、これまで新築時点相当の2割とされていた賠償基準を、避難先で取得する住宅と価格差が生じる場合に6~8割に引き上げる方向で議論が進められています。

また、かねてより町が国に対して強く要望していた原子力損害賠償に係る賠償請求権の消滅時効等の特例に関する法律が、先月4日議員立法により可決、成立いたしました。これは、民法で3年となっている消滅時効の期間が、特例法により10年に延長されるものであります。今後も皆さまの損害の完全賠償に向けて、引き続き国、東京電力に対して強く働きかけてまいります。

次ページへ続きます 

中間貯蔵施設については、双葉町での調査結果から建設可能と判断され、過日、国から福島県並びに双葉町などに対し、施設の建設受入れ要請がされました。中間貯蔵施設については、非常に重大な問題であることから、今後は議会と町民の皆さまのご意見を十分にお聞きし、福島県、他候補地の町との連携を図りながら、慎重に対応していく考えであります。

モデル除染については現在、双葉町内の3箇所で開催されていますが、除染の効果を十分に見極めていきます。また、町内墓地の整備・除染についても今年3月のお彼岸前の完了を目標に作業を進めていく予定であります。

さらに、町民の皆さまの健康管理や町民同士のきずなを維持・発展できる施策にも取り組む考えですので、引き続きご理解とご協力をお願いします。

今年一年の皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭にあたってのご挨拶といたします。

双葉町長 伊澤 史朗

平成26年双葉町成人式(1月4日)

平成26年双葉町成人式がいわき市のスパリゾートハワイアンズで行われました。

伊澤町長から成人証書が授与され、「ふるさと双葉の復興の担い手として成長され、復旧復興とともに願いともに取り組んでほしい」と式辞があり、新成人の代表からは「家族、友人や地域の人々とも離れ離れになったが、生まれ育った双葉町とかけていただいた恩情をいつまでも忘れず、できることからお返ししていきたい」と誓いの言葉がありました。

あでやかな晴れ着姿に身をまとった新成人の皆さんは、久しぶりの再会を喜ぶとともに、思い出話に花を咲かせていました。

新成人の皆さんおめでとうございます。



双葉町民の避難状況

1月7日HP更新

【平成26年1月6日現在】

所在	人数
◆福島県内に避難されている方	3,886人
◆福島県外に避難されている方	2,992人

*旧埼玉県立騎西高校・・・0人（平成25年12月27日に全員退所）

都道府県別避難状況

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
1 北海道	16人	13 東京都	366人	25 滋賀県	1人	37 香川県	-人
2 青森県	21人	14 神奈川県	196人	26 京都府	12人	38 愛媛県	4人
3 岩手県	9人	15 新潟県	196人	27 大阪府	4人	39 高知県	-人
4 宮城県	184人	16 富山県	18人	28 兵庫県	2人	40 福岡県	10人
5 秋田県	13人	17 石川県	13人	29 奈良県	5人	41 佐賀県	4人
6 山形県	48人	18 福井県	8人	30 和歌山県	-人	42 長崎県	5人
7 福島県	3,886人	19 山梨県	14人	31 鳥取県	-人	43 熊本県	5人
8 茨城県	401人	20 長野県	7人	32 島根県	18人	44 大分県	7人
9 栃木県	163人	21 岐阜県	10人	33 岡山県	3人	45 宮崎県	-人
10 群馬県	43人	22 静岡県	36人	34 広島県	3人	46 鹿児島県	16人
11 埼玉県	906人	23 愛知県	13人	35 山口県	-人	47 沖縄県	5人
12 千葉県	187人	24 三重県	-人	36 徳島県	-人	計	6,861人

*所在不明(情報有り)、海外:17人 *震災時に生活実態なし:3人

*死亡・行方不明:259人(うち災害関連死亡者(11/30現在):119人、行方不明者:1人)

福島県内市町村別避難状況

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
1 福島市	415人	13 本宮市	57人	25 塙町	34人
2 会津若松市	97人	14 川俣町	4人	26 石川町	4人
3 郡山市	738人	15 大玉村	8人	27 平田村	6人
4 いわき市	1,701人	16 鏡石町	9人	28 三春町	16人
5 白河市	254人	17 南会津町	14人	29 小野町	5人
6 須賀川市	53人	18 猪苗代町	26人	30 広野町	12人
7 喜多方市	15人	19 会津坂下町	19人	31 新地町	7人
8 相馬市	53人	20 会津美里町	19人	その他	20人
9 二本松市	33人	21 西郷村	37人		
10 田村市	33人	22 矢吹町	18人		
11 南相馬市	145人	23 棚倉町	13人		
12 伊達市	17人	24 矢祭町	4人	計	3,886人

問い合わせ

住民生活課

TEL 0246-84-5204



大熊町からのお知らせ

確実なる前進を（町長メッセージ）

1月6日HP更新

新年にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

震災から間もなく2年10カ月が経過しようとしております。皆様には、住み慣れた故郷を離れ、長期間不自由な生活を余儀なくされている中、行政に対して多大なるご支援を賜っておりますことに、心より感謝を申し上げます。

大熊町はご承知のとおり、平成24年12月10日に線量に基づく3つの区域に再編されております。比較的線量の低い避難指示解除準備区域の中屋敷地区と居住制限区域の大川原地区では、今年3月の完了を目指して本格除染が進められており、この地区を復興の拠点、治安の拠点として整備してまいります。

また、帰還困難区域につきましては、避難が長引くことが予想されていますので、安心した住環境の整備という形で、県内に県営復興公営住宅の建設が進められているところであります。12月10日現在で、すでに会津若松市や郡山市、いわき市等で453戸が着工しており、平成27年度末までに3,700戸が整備される計画となっております。入居を希望される方全員が一日でも早く入居できるよう、引き続き県に強く要望してまいります。

町の復興計画につきましては、放射線量などの経過予測を踏まえた大熊町の在り方を描く「大熊町復興まちづくりビジョン」の策定を進めており、間もなくそのイメージをお示しいたします。このビジョンを基にして、今年半ばを目途に、当面の避難生活に関する町としての考え方、また、中長期的な大熊町土の復興・再生に関する町としての考え方などを盛り込んだ第2次大熊町復興計画の策定を行ってまいります。

中間貯蔵施設につきましては、「調査＝建設ではない」という条件のもと、ボーリング調査等が進められてきましたが、昨年12月14日に石原環境大臣と根本復興大臣による正式な建設要請を受けたところであります。今後町民説明会を実施し、町民の皆様をはじめ、議会とも十分な協議を重ねたうえで、町の方針を示してまいりたいと考えております。中間貯蔵施設は大熊町だけの問題でもありませんし、双葉郡でどう対応していくのか、福島県全体としてどうあるべきか等をしっかり議論しながら進めてまいります。

廃炉に向けての第一歩として、11月18日から原子力発電所4号機の使用済燃料の取り出しが始まりました。その工程は30年～40年かかるだろうとの予測がされております。今後の復興に向けて、あるいは地域の再生に向けて発電所が安定することが最優先課題でありますので、単に電気事業者任せではなく、国としてしっかり対応するよう強く要請しているところです。

次ページへ続きます 

学校教育においては、自ら進んで学習に取り組む子どもの育成に引続き力を入れてまいります。そのための前提条件が「心の安定」にあります。長期にわたる避難生活でストレスを抱える子供たちの心のケアに、しっかりと取り組んでまいります。

また、小・中学校においては、読書活動を中心に会津大学・同短期大学部との教育連携やタブレットPC等を活用したICT教育の一層の充実を図ってまいります。

さらに、平成27年度開校予定の双葉郡中高一貫校との連携も視野に入れ、教育の質の向上を目指し、大熊町の将来を担う子供たちの教育に責任を持って取り組んでまいります。

昨年末にかけて、国から少しずつ方策が示されるようになり、歩みは遅いですがようやく前に進み始めたように思います。しかし、まだまだ不明瞭な点が多く、国や県と議論を重ねて総合的に判断していかなければなりません、具体的に決まり次第、皆様にお知らせしてまいります。

解決しなければならない課題は山積しておりますが、町民の皆様の生活と健康を第一に考え、一歩ずつでも確実に前に進めるように、職員ともども全力で取り組んでまいります。そして、皆様の声をしっかりと受け止め、共に手を取り合い、大熊町の復興に向けて明るい希望が見出せるような一年になりますようご祈念申し上げまして、新年のあいさついたします。

大熊町長 渡辺 利綱

福島第一原子力発電所20km圏内の測定結果について

1月7日HP更新

No.	住所(測定位置)		空間線量率(μ Sv/h)									線量計
			11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	12/31	
23	夫沢	西北西約2.3km	10.3	10.6	10.6	10.5	10.4	10.3	10.1	9.9	10.1	NaI
25	野上	西約14km	1.6	1.4	1.6	1.6	1.5	1.5	1.5	1.4	1.4	NaI
26	野上	西約11km	1.7	1.8	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6	1.6	1.6	NaI
29	夫沢	西約2.4km	28.2	28.7	28.1	28.4	27.0	29.1	28.9	26.8	28.9	IC
30	夫沢	西約2.6km	13.6	13.8	13.9	13.5	14.0	13.8	13.4	12.9	13.1	NaI
34	大川原	西南西約7.5km	1.8	2.3	1.7	1.9	1.8	2.0	2.2	2.0	1.7	NaI
35	野上	西南西約6.6km	6.5	6.6	6.7	6.5	6.3	6.5	6.3	6.2	6.2	NaI
36	下野上	西南西約4.8km	3.9	4.1	4.0	3.8	4.2	4.3	4.0	4.0	4.0	NaI
37	夫沢	西南西約3.0km	33.7	35.2	34.2	35.2	35.8	38.0	35.7	32.1	35.4	IC
38	小入野	西南西約3.7km	4.3	4.6	4.6	4.5	4.5	4.4	4.3	4.2	4.3	NaI
47	熊川	南南西約3.7km	22.1	23.1	23.2	22.4	22.6	22.9	22.6	22.1	22.1	NaI
50	熊川	南約4.0km	10.4	10.5	10.4	10.6	10.3	10.4	10.3	9.8	9.7	NaI

線量計の種類 NaI : NaI(ヨウ化ナトリウム)シンチレータによる値 / IC : 電離箱による値
測定実施者:電力会社

問い合わせ

原子力規制庁 監視情報課

TEL 03-5114-2125



富岡町からのお知らせ

県内外の避難先別人数(1月1日現在)

1月7日HP更新

市町村別避難者数 平成26年1月1日現在 (右欄は前月からの増減)

コード	市町村	避難者数		世帯数		コード	市町村	避難者数		世帯数	
7201	福島市	414	-1	226	2	7444	三島町	-	-	-	-
7202	会津若松市	181	-1	85	-1	7445	金山町	-	-	-	-
7203	郡山市	3,061	10	1,580	13	7446	昭和村	-	-	-	-
7204	いわき市	5,660	14	2,675	5	7447	会津美里町	13		7	
7205	白河市	118		53		7461	西郷村	44		17	
7207	須賀川市	83	2	39	1	7464	泉崎村	-	-	-	-
7208	喜多方市	37	-5	14	-3	7465	中島村	2		1	
7209	相馬市	67	2	44	1	7466	矢吹町	36	-2	15	-1
7210	二本松市	40	-1	26	-1	7481	棚倉町	6		3	
7211	田村市	149		108		7482	矢祭町	-	-	-	-
7212	南相馬市	104		58		7483	埜町	11		5	
7213	伊達市	16		9		7484	鯉川村	2		1	
7214	本宮市	40	2	18	1	7501	石川町	8		5	
7301	桑折町	4		3		7502	玉川村	8		3	
7303	国見町	5		1		7503	平田村	13		7	
7308	川俣町	5		4		7504	浅川町	8		5	
7322	大玉村	287	-3	159	-3	7505	古殿町	-	-	-	-
7342	鏡石町	12		7		7521	三春町	402	-10	188	-7
7344	天栄村	2		2		7522	小野町	24	-1	13	-1
7362	下郷町	1		1		7541	広野町	54		33	
7364	桧枝岐村	-		-		7542	檜葉町	1		1	
7367	只見町	-		-		7543	富岡町	-	-	-	-
7368	南会津町	7		4		7544	川内村	8		7	
7402	北塩原村	1		1		7545	大熊町	-	-	-	-
7405	西会津町	8		4		7546	双葉町	-	-	-	-
7407	磐梯町	3		1		7547	浪江町	-	-	-	-
7408	猪苗代町	40	1	30	1	7548	葛尾村	-	-	-	-
7421	会津坂下町	7		5		7561	新地町	7		5	
7422	湯川村	-		-		7564	飯館村	-	-	-	-
7423	柳津町	-		-		合 計 (死亡者を除く)	10,999	7	5,473	7	

都道府県別避難者数 平成26年1月1日現在 (右欄は前月からの増減)

コード	都道府県	避難者数		世帯数		コード	都道府県	避難者数		世帯数	
1	北海道	72		39		26	京都府	12		9	
2	青森県	25		19		27	大阪府	38		21	
3	岩手県	21		12		28	兵庫県	10		8	
4	宮城県	234	3	133	3	29	奈良県	10	2	5	
5	秋田県	26		18		30	和歌山県	2		1	
6	山形県	39	-2	22	-2	31	鳥取県	1		1	
7	福島県	-		-		32	島根県	15		10	
8	茨城県	573	-1	273		33	岡山県	15		6	
9	栃木県	237	1	103		34	広島県	14		8	
10	群馬県	171	-1	117	-1	35	山口県	14	1	4	1
11	埼玉県	572	-1	266	-4	36	徳島県	6		2	
12	千葉県	436	-9	220	-3	37	香川県	3		3	
13	東京都	794	2	404	1	38	愛媛県	12		6	
14	神奈川県	404		207		39	高知県	6		2	
15	新潟県	311	-6	135	-2	40	福岡県	17		8	
16	富山県	3		3		41	佐賀県	3		1	
17	石川県	16		9		42	長崎県	7	-1	4	-1
18	福井県	16		9		43	熊本県	8		6	
19	山梨県	20		9		44	大分県	17		12	
20	長野県	57	-1	28		45	宮崎県	10		6	
21	岐阜県	5		2		46	鹿児島県	15		9	
22	静岡県	49		31		47	沖縄県	17		8	
23	愛知県	59		27		888	国外	10		9	
24	三重県	6		5		合計 (死亡者等を除く)		4,420	-13	2,245	-8
25	滋賀県	12		5							

合計	避難者数	15,419 人
	避難世帯数	7,718 世帯

問い合わせ

富岡町役場

0120-33-6466



川内村からのお知らせ

新年のごあいさつ（村長メッセージ）

1月8日HP更新

新年あけましておめでとうございます。

新しい年の初めに当たり、川内村民皆様の御健勝と御多幸をお祈り申し上げますとともに、本村復興のため、御支援と御協力いただいている全ての皆様に対して、心から感謝申し上げます。

原子力発電所事故に伴う全村避難からの復興、少しずつですが環境回復やインフラ整備が少しずつ形になって表れてきております。特に、安全な生活環境を確保するため除染作業を進め民家除染は完了しましたが、目標値を超えるケースもあり、除染終了後のホットスポットを確認するためガンマカメラ調査を実施し、2次除染を進めるべく、国に要望しております。



また、村民の医療環境の充実を図るため、新たに整形外科、眼科、心療内科、消化器内科の外来受診も可能とし、更に、村独自で病院や大学の協力を得て内部被ばく検査や甲状腺検査を実施しているところです。雇用の面でも、すでに3社の企業誘致が決定し、さらに新たに5社から村進出の打診があります。基幹産業でもある農業にも明るい兆しが見えてきました。米の全袋検査の結果、全てにおいて出荷基準値の範囲内であり、安心して食べることができ、出荷することも可能になりました。また、古くから伝わっている諏訪神社のお祭りが復活し、収穫の秋には五穀豊穡、火伏御祈禱、地域の安全を願って町獅子・西山獅子・高田島獅子や神楽舞が奉納されました。震災原発事故から2年10カ月、戻るための判断材料を数多く示しながら、10年後20年後のその時代に合った新しい川内村を創っていく覚悟です。

一方、廃炉作業への住民不安、原子力損害賠償の完全実施、安全安心な飲料水の確保、生活環境の改善等、新たな課題も山積みです。今年も、多くの皆様に安心して戻っていただけるよう、復興公営住宅や定住住宅の建設、商業施設や介護施設の建設、安全安心な飲料水の確保などについて、着実に進めてまいる考えです。

復興は一言で言うならば、生きがいや誇りを取り戻すこと。豊かな自然や田舎の原風景が私たちの心を癒してくれる川内村、そこで生活する意義や価値観まで見いだせなくなり、誇りまで失っていくのではないかと危惧しています。どうすれば生活できるのか、生きていくためにどうすればいいのか、住民が少ないなりの新しい取り組みにトライしていく発想の転換が必要ではないでしょうか。ぜひ、故郷川内村のためにお力添えをいただきたいと思っております。

私はこの豊かな自然と、人と人との助け合いの精神を守り、「自己中心」から「他者中心」への考えや行動ができる村、都会のような便利さはないが安心して生活できる村づくりを進めていきたいと考えています。

最後に、この難局を乗り越え、「新生かわうち」を創造するため、全身全霊で取り組むことをお約束し、年頭のごあいさつといたします。

川内村長 遠藤雄幸



郡山市からのお知らせ

「平成26年郡山市成人のつどい」の開催について

1月6日HP更新

成人の日前日に、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い励ますとともに、互いに祝福しあい、夢と希望を語り合うつどいの場として「平成26年郡山市成人のつどい」を開催します。

日時

平成26年1月12日(日) 午後1時30分～午後3時 (開場午後0時30分)

場所

ビッグパレットふくしま

新成人該当者

平成5年4月2日～平成6年4月1日に生まれた方

キャッチフレーズ

郡山発 ～きみのレールを創る旅～

タイムスケジュール

時間	内 容
午後0:30	開場 新成人受付開始(記念品配布)
1:30	式典 国歌斉唱、市長・議長メッセージ、成人証書・記念品授与、 20歳の誓い、子どもたちからのメッセージ など
1:45	アトラクション 恩師登場、20歳の叫び、お楽しみ抽選会、ライブ、グランドフィナーレ
3:00	終了

主な出席者

市長、副市長、教育委員長、教育委員、教育長、社会教育委員、各部局長
県知事、地元選出国會議員および県議會議員、市議會議長、市議會議員

その他

会場内の様子を市のホームページから配信します。
1月12日→当日、18日～31日→ダイジェスト版

問い合わせ

生涯学習スポーツ課

TEL 024-924-2441



いわき市からのお知らせ

いわき市災害公営住宅整備状況について

1月6日HP更新

いわき市が整備を進めております災害公営住宅につきましては、整備が完了次第順次入居を開始することとしておりますが、各地区の整備状況についてお知らせします。

各地区の整備状況について

1.災害公営住宅(久之浜団地)

平成25年11月末現在

1.災害公営住宅(久之浜団地)※集合住宅

工事概要

- 建設戸数 【集合住宅】 120戸 1号棟・・・56戸 2号棟・・・64戸
- 構造 【集合住宅】 RC造 1号棟・・・7階建 2号棟・・・8階建

完成イメージ



現況写真(全体遠景)



現況写真(全体近景)



次ページへ続きます

※ほかの15地区の整備状況についてはホームページをご覧ください。

- 2.災害公営住宅(四倉団地)
- 4.災害公営住宅(作町団地)
- 5.災害公営住宅(沼ノ内団地)
- 6.災害公営住宅(薄磯団地)
- 7.災害公営住宅(豊間団地)
- 10.災害公営住宅(常磐関船団地)
- 14.災害公営住宅(錦団地)
- 16.災害公営住宅(勿来関田団地)

※ 3.北白土団地、8.内郷雇用促進住宅、9.常磐湯本団地、11.小名浜団地、
12.佐糠第一団地、13.佐糠第二団地、15.勿来四沢団地
については、工事着手後に順次ホームページに掲載します。

※ 団地名は仮称です。

問い合わせ

土木部 住宅課

TEL 0246-22-7496



新潟県

新潟県借上げ住宅の提供期間延長手続きについて

現在、**新潟県が提供している借上げ住宅**に、4月以降も引き続きお住まいになることを希望する方は、すでにお送りした契約延長手続きの書類を期限までに提出してください。

また、3月31日までに退去する予定の方は、退去手続きの書類を期限までに提出してください。

提出期限 1月17日(金)必着

※期限内に早めに提出するようお願いします。



※4月以降に退去する予定の方は、まず契約延長手続きをした後、退去予定日の1カ月前までに退去手続きをしてください。

詳しくは、お送りした書類をご覧ください。

問い合わせ

広域支援対策課

TEL 025-282-1732、025-282-1775

南相馬市長選挙・南相馬市議会議員補欠選挙

投票日は 1月19日(日)です。

三条市で不在者投票ができます。

- 期間 1月10日(金)～17日(金) ※土・日・祝日は投票できません。
- 時間 午前8時30分～午後5時30分
- 場所 三条市選挙管理委員会事務局 (三条市役所三条庁舎3階)

手続方法

まだ請求していない方は
お急ぎください。

①投票用紙一式を請求する。

南相馬市選挙管理委員会から届いた不在者投票用「請求書兼宣誓書」に必要事項を記入し、返信用封筒に入れて郵送してください(メールやFAXでは請求できません。)

南相馬市の投票所(期日前投票所を含む)で投票する方は、請求しないように注意願います。請求してからは、南相馬市で投票することができなくなる場合があります。

②投票用紙一式を受け取る。

南相馬市選挙管理委員会から「投票用紙、投票用封筒(内封筒と外封筒)、不在者投票証明書」が郵送されます。



証明書の開封や投票用紙への事前記入は
絶対にしないでください。
投票ができなくなります。

③三条市選挙管理委員会で投票する。

受け取った封筒一式を持参して投票してください。

南相馬市に投票済みの用紙を郵送する必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。



問い合わせ

三条市選挙管理委員会事務局

TEL 0256-34-5511 内線320

本年最初の「食推食事会」です

本年も、昨年に引き続き、新潟県食生活改善推進委員協議会のご厚意により、食事会を開催いたします。

作り方をお聞きしたり、次回のメニューのリクエストをしたり、バランスの良い、温かい美味しい食事をみなさんで囲ってみませんか。

今回のメニューは、「煮菜(にな)」です。煮菜は、たい菜という塩漬け野菜を打ち豆などと煮たもので、冬期に毎日のように食べられている新潟の料理です。

もちろん、作ってみたいと思われる方の参加も大歓迎です。

日時 **1月22日** **水** 正午から

場所 三条市総合福祉センター 3階 調理室
交流ルーム「ひばり」集合後、移動します。

参加費 300円（当日徴収）



申込締切 1月17日(金)正午
交流ルーム「ひばり」 TEL 0256-33-8650

親子のためのクラシックコンサート 「音楽の絵本」 ご招待

BSN新潟放送のご厚意により、下記コンサートご招待の案内が届きましたので、お知らせします。

日時 **2月11日** **祝** 午後2時開演（午後1時15分開場）

場所 新潟市民芸術文化会館(りゅーとぴあ)
コンサートホール

対象 避難者親子

演奏予定曲目

ローエングリーン第3幕への前奏曲、カッコウワルツ、
星に願いを、森のくまさん、八木節 ほか

※応募多数によりご希望に添えない場合があります。
あらかじめご承知おきください。



申込締切 1月15日(水)正午
交流ルーム「ひばり」
TEL 0256-33-8650

1月の「ひばり」

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
★版画教室 第2・4水曜日午前10時～正午 ★茶話会&簡単な手芸教室 第1・3・5水曜日午前10時～午後2時 家にとじこもりがちな季節、気軽にご参加ください				9日	10日	11日
				ひばり休み 浜通り配布		
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
ひばり休み		ひばり休み	茶話会 コンサート締切	ひばり休み 浜通り配布	食事会 締切	ひばり 午後休み
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
ひばり 午前休み		ひばり休み	版画教室 食推食事会	ひばり休み 浜通り配布		
	ひばり 午後休み					

本年もよろしくお祈いします。



問い合わせ

交流ルーム ひばり(総合福祉センター内)

TEL 0256-33-8650

E-mail hibari_sanjo_nyh@yahoo.co.jp

[開館時間] 9:30~15:00 [休館日] 火曜日・木曜日

被災自治体 問い合わせ先一覧

市町村名	電話番号	以下の町は役場機能が移転しています。
南相馬市	0244-24-5232	浪江町:平石高田第二工業団地内 (二本松市北トロミ573番地)
浪江町	0243-62-0123	双葉町:双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町2-19-4)
双葉町	0246-84-5200	大熊町:会津若松市役所追手町第二庁舎内 (会津若松市追手町2番41号)
大熊町	0120-26-3844	富岡町:郡山市大槻町西ノ宮48-5
富岡町	0120-33-6466	
川内村	0240-38-2111	
いわき市	0246-25-0500	
郡山市	024-924-2491	

三条市に避難している 世帯数(2014.1.8現在)

市町村名	世帯数
南相馬市小高区	37
南相馬市原町区	5
南相馬市鹿島区	1
浪江町	8
双葉町	4
大熊町	1
富岡町	2
川内村	1
いわき市	1
郡山市	6
合計	66

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511